

## アンケート結果を受けて改善したいところ 【人文社会学系】

アンケート結果には反映されていないが、私語が目立つ学生が多くいて、その学生への注意が十分できなかったことは反省点である。意欲の高い学生の学習の機会をしっかりと保障できるようにしたい。

学生どうして授業内容を深める活動は講義全体を通して少ないため、特に評価が低かったと思われる。グループ活動や調べ学習などを取り入れて学生どうしの学び合いの機会を増やしたい。

この数年、一回の授業で扱う内容をなるべく少なくして、ゆっくり学ぶことを心がけている。今回のアンケート結果では、一回の授業内容量と難易度について、かなり肯定的な評価がなされており、この点は今後も継続的に取り組みたい。

板書した内容を写すのに時間がかかることが時々あったので、時間の節約と分かりやすさのために、配布物に記載するようにしていきたいと思います。

難易度については約7割以上がちょうどいいと答えているが、授業内容の量については「多い」「多すぎる」と答えた学生が3割前後いたので、配布する資料を精選したい。「この授業のための週あたりの学習時間」が期待したよりも少ないので、自宅学習すべき内容を明確に指示するように改善する。

受講者の主体的な活動を柱とする授業を行ったためか、アンケート結果で(表面的に)は達成感を得ていた様子が確認できた。しかし、実際のところどのような実力がついたのか、授業者としては懐疑的なところが残っている。教員主導で学修を進める事項を増やす方向で、次年度は方法を工夫したい。

### 【M1国語科教育A(学籍番号 偶数)】

4, 5, 6月は、就職活動や教育実習などで、全員が揃わない回が少なくないため、提出物の提出期日に余裕をもたせておりました。混乱が生じないように、提出期間を短くし、徹底を図りたいと思います。

### 【M1国語科教育A(学籍番号 偶数)】【S2国語科研究A I (学籍番号奇数)】

これからも分かりやすい説明を心掛け、学生が興味・関心を持ち、意欲的に取り組めるよう努めたいと思っております。

このままでよい、問1,12がよければ、問題あるまい。

①教員主導の教材研究や模擬授業の構想づくりでなく、学生主体に進めたことで、学生自身が達成感や向上感をもっていることがわかったので、今後も学生主導での模擬授業実践を進めつつ、適切な指導を行っていききたい。また学生の主体的な学びを大切にはするものの、社会科教育の普遍性については指導をしていきたい。

②学習者にとってより魅力的な教材開発の在り方を深める。これは、教育実習での授業実践や就職後の授業づくりに繋がることであると考え。

問15を見ると、週あたりの学習時間が、3時間以上と2～3時間以上が53%いる。これは、終末に近い頃のレポート作成時期の様相に影響を受けているとは思いますが、もう少し、学生の負担を少なくしたい。

※改善したい点ではないが、学生がよくがんばったことが印象に残る。

例えば、出身学区の土地利用着色と説明の時には、住宅地建設予定であろうと思われる空白の場所を実際に観察して、現在は、住宅が建っていることから住宅地の着色をし、さらに、住宅地においても、空白の場所の新しい住宅地と地形図に示される以前からある住宅地の色を塗り分けて説明した学生がいた。それを発表したりする中で触発される学生が何人も出てきたり等である。

「週当たりの学習時間」が、課題を多く出した授業では多くなっている。できればこちらから課題を出さずとも積極的に学習に取り組んでくれるように授業を仕組んでいきたい。

半期の授業の目標、流れ、評価を、繰り返し伝える努力、俯瞰的に概説することをさらに行おうと思っています。授業中に説明しているところを聴き落としてわからなくなること、欠席して聞いてないことがあるかと思ひ、なるべくプリント類に書いて伝え、学びネットでもアナウンスしてきました。まだ、クラスで3分の1ぐらいが、わかりにくいと判断していることについて、どうしたらよいのか困っています。毎時間、15回の授業の流れとの関連で、その日の授業について説明もしてきました。

グループ活動を主として行ってきたが、今回はグループ間の格差が非常に大きかった。時間のなかで、教師の説明が不十分になってしまい、学生が理解できないことが多かったのだと思う。状況に応じて、グループ活動を見直し、教師が丁寧に説明する時間を設けていこうと思う。各課題に対して、なぜ必要なのかについても十分に説明し、学生の意欲を高めたいと思う。

1年生にとって、学習指導案を部分的ではあっても作成することは、かなり難易度は高かった。もう少し時間をかけて、学生に修正する場を設けるようにしたら、後々、その他の教科で本時案および単元全体の指導案を書かねばならない時の基礎が培えたのではないかと考える。

「社会科教育A」という同一名称の科目を、2クラス(「理科(学籍番号奇数の4年生)」を中心とした受講生のクラスと、「国語(学籍番号奇数の2年生)」を中心としたクラス)担当致しました。その内、「国語」のクラスについては、各設問に対して肯定的な回答が多く、それに比して、「理科」のクラスについては、相対的に、肯定的な回答の割合は低く止まりました。両クラスでは、受講生の関心に応じて臨機応変に内容の変更が施されたものの、しかし基本的な学習内容はシラバスに即した共通のものであったわけですが、にもかかわらず、上のように二つのクラスで相違が表れたことには、その理由の一つとして、当授業で、社会科教育に関する古典的なテキストを読み進める、という学習を一つの柱として採用していたことが考えられます。そこで、今後は、受講者の関心や能力に応じてテキストを選定すること、さらに場合によっては、テキストを購読するというスタイルそのものへの代替案を検討することを行い、「この授業をさらに学びたい」という意識を、クラス全体に広く醸成することのできる講義を目指してまいります。

問9～14までに課題を感じる。本年度は初めての講義であったので、学生の実態や特性の把握が不十分であった。学生の能力をかなり高く判断してスタートしたので、実態を理解し始めた3回目から、学生の実態・理解に寄り添いながら、シラバスを変更しつつ、対応していったつもりである。今年の経験から、授業内容の量、説明の速度、難易度について体感できたことを生かして改善していきたい。

・アクティブラーニング形式の授業をめざし、学生の積極的な発言を求めたが、毎時間ポツポツとしか発言を引き出すことができなかった。4回目の授業から読み取る資料を限定し、グループ討議の時間を長めにとったりした。また、授業内容における難しい概念には解説を加えるように配慮した。しかし、学生同士の十分な討議・話し合いには至らなかった。→グループ討議から教室全体での発表へ至るテーマを精選し、学生たちが本気で考える授業をめざしたい。

・この授業のための週当たりの学習時間が「なし」の学生が半分近くに達する事実が、自分たちの考えをもてなかった要因につながると思う。予習が必要であると学生が意識するように次時の授業テーマを示すなど授業改善にあたる工夫を行いたい。

・「学生同士で授業内容を深め合った」という認識を強くそう思う、ややそう思うが50%前後を示した。この認識の割合をさらに高めると共に、教員と学生のコミュニケーションを高める工夫を新たに考えて実践したい。

◎3631121(3年生)と4631141(4年生)の共通

(1)多くの学生が教材研究の大切さを理解していることが分かります。

(2)私自身も分かりやすい説明や話術について一層の工夫(努力)をする必要があると思います。

◎4631141(4年生)

(1)既に教育実習を行っているため、基礎・基本を習得している学生にとっては満足度が必ずしも高くない。その対策としては、教材開発(教科書を離れた教材の作成)という視点が必要であると思います。

(2)次の時間が昼休みであるので、毎回、学生に話しかけたつもりであるが、一部の学生に限られていた。昼食を一緒にするなど、学生との対話の時間を確保する工夫が必要であると思います。

問1 この授業で、新しい考え方や知識・技能が身についたという設問に対して、①強く思う②やや思うの割合が、75.7%であったことは評価して良いと考える。今後も継続して、学生が新たな知見を得られるような授業を運営していきたい。

問15 この授業のための週当たりの学習時間(課題・レポートに費やす時間も含む)という設問に対して、④1時間未満⑤なしの割合が、85.3%であった点に関しては、改善すべき点であると考えている。学生が授業の予習・復習を行えるような課題提出を工夫したい。

授業内容が、聞き取りやすい話し方や分かりやすい説明になるように、一層工夫していきたい。

アンケート結果の内、教員とのコミュにメーションに関しての評価が比較的低めであるので、授業をより活発化させるためのコミュニケーションの方法について模索していきたい。